

下松市で「シイタケ料理体験交流会」が開催されました！

令和5年11月23日（木・祝日）、下松市久保公民館（同市河内）において、「シイタケ料理体験交流会」が開催されました。

この取組は、旬の食材である地域産の原木シイタケを使って、楽しみながらシイタケの地産・地消を促進しようと、「周南地区林業研究グループ連絡協議会女性部会」（会長：近道千佐子、会員13名）が実施したもので、当日は下松市近郊から親子連れを含む19名の参加がありました。

料理体験は、女性部会員9名の指導により4つの班に分かれて行われ、参加者は、工夫を凝らしたシイタケ料理を、時折歓声を上げながら楽しみました。試食では、出来上がったシイタケ料理がズラリと並び、参加者全員でおいしくいただきました。

試食後は、原木シイタケ生産者の松原近志さんから「原木シイタケの魅力」についてのお話が行われたほか、関係者から「林研女性部の活動」や「森林づくり県民税の仕組みと成果」など各種のPRも実施されました。参加者からは、特に原木シイタケについて活発な質疑が寄せられ、関心の高さを伺い知ることができました。

このたびの料理体験交流会は、新型コロナの感染拡大以降、実に4年半ぶりの開催となりましたが、募集人員を超える応募があり、また「新たな調理方法を体験できた」と参加者からも好評を博すなど、シイタケの地産・地消を促進する良い機会となりました。

当協議会女性部会では、特用林産物の消費を通して、都市住民や子供たちに森林に親しみをもってもらいたいため、今後も同様の取組を進めていきたいと考えています。



シイタケ料理体験の様子



原木シイタケのPR